

《判定結果の反映状況》

(単位：千円)

No.	対象事業	担当課	判定結果 (事業判定会)	見直しの検討結果 (市の対応)	予 算			当初予算額	予算への反映状況
					要求額	見直し後の 要求額	見直し箇所		
1	図書館等資料ICタグ整備事業	柳瀬川図書館	<p><b>【事業内容を抜本的に見直す】</b></p> <p>図書資料の管理にICタグを活用した管理方法を導入することについては、図書資料の盗難防止や管理の効率化に対してメリットがあることは理解できたが、市側のメリットが大きく、市民側へ還元されるようには思えなかった。説明の中では、今後、自動貸出機の導入による市民サービスの向上も検討しているとの話ではあったが、本来は、そこまで含めた全体計画を策定したうえで、基盤整備を進めていくべきであることから、事業内容を抜本的に見直す必要があると考える。</p> <p>本整備事業を進める場合は、他自治体の実状や利用者拡大の視点も踏まえ、レファレンスサービスの充実など市民サービスの向上や人員削減などを含めた全体計画の検討を行ったうえで進めていただきたい。</p>	ICタグ導入を含めたシステム更新を1年先送りにし、その間に利用者サービスの拡大、効率化による人員見直し等について全体計画を策定した上で、費用対効果を高めた導入を目指す。	31,433	11,879	システム更新を1年先送りにして現行システムの再リリースとするため、業務委託料及び機器借上料を減額する。	11,879	担当課の要求を反映
2	小中一貫教育推進事業	学校教育課	<p><b>【事業内容を抜本的に見直す】</b></p> <p>小中一貫教育を進めるうえでの、最終的な目標や期待できる効果などの説明が曖昧であり、現状実施している「乗入れ授業」などが本質的に小中一貫教育の推進に寄与しているかの判断ができないことから、事業内容を抜本的に見直す必要があると考える。</p> <p>まずは、当該事業の軸の一つとなる9カ年を見通したカリキュラムの作成プロセスにおいて、小中一貫教育の目指すべき姿を明確化するべきである。また、市として一貫した政策を進めるうえでは、教育委員会だけではなく市長部局を巻き込んで進めていくとともに、地域や保護者などの市民の声を十分に反映させるべきである。</p>	<p>小中一貫教育を推進するに当たっては、以下の点について見直しを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○最終的な目標や期待できる効果については、小中一貫型カリキュラムの活用による教育活動の充実と9年間の進級・進学時のギャップの軽減となるが、分野ごとに更に明確化する。</li> <li>○「乗入れ授業」は、小・中学校教員双方で「きめ細かさ」や「専門性」を学び合うことにより、カリキュラムの作成や授業実践に生かされている。一方で、成果を図る指標が曖昧であるため、現状のアンケート調査による検証方法を見直す。</li> <li>○地域の声については、今後、コミュニティスクール（学校運営協議会）の中で取り入れていく。また、教育委員会だけではなく、関係各課との連携により推進していく。</li> <li>○先進自治体の取組について、引き続き調査・研究を行っていく。</li> </ul>	1,536	1,536	予算上の見直し箇所なし。	1,370	担当課の要求を一部反映

《判定結果の反映状況》

(単位：千円)

No.	対象事業	担当課	判定結果 (事業判定会)	見直しの検討結果 (市の対応)	予 算			当初予算額	予算への反映状況
					要求額	見直し後の 要求額	見直し箇所		
3	北美保育園 施設補修事業	子ども家庭課	<p>【担当課の要求どおりで良い】</p> <p>北美保育園については、施設の老朽化が進んでいることから、本来であれば、公立保育園の在り方を含めて数年先を見据えた計画が策定されているべきであり、その計画に基づき施設の補修等を進めていくべきであるが、昨今の保育需要の高まりや待機児童の現状を勘案すると、緊急避難的に担当課の要求どおりと判定せざるを得ない。</p> <p>事業の実施の必要性は認めるものの、今後は直ちに北美保育園、ひいては公立保育園全体の今後の在り方を検討するとともに、安全面等さまざまな視点から施設計画の策定を進めていただきたい。</p>	<p>事業判定会の判定結果を踏まえ、当初の要求どおり施設補修事業を進め、良質な保育環境を確保していく。</p> <p>しかしながら、判定員からの指摘にもあるとおり、老朽化が進む北美保育園を含む、公立保育園の今後の在り方については、喫緊の課題であり、併せて、さらなる高まりが予想される保育ニーズにも応えていく必要があることから、多角的な視点で検討、協議を重ねるとともに、平成31年度策定予定である「第2期子ども・子育て事業支援計画」において、保育施設の整備計画など、総合的に検討を進めていく。</p>	1,944	1,944	予算上の見直し箇所なし。	1,944	担当課の要求を反映
4	飼い主のいない猫の不妊・去勢手術推進事業	環境推進課	<p>【担当課の要求どおりで良い】</p> <p>現行の「地域猫活動推進事業」においては、地域猫活動を行う団体が猫の不妊・去勢手術やトイレの整備などを実施した際に、市から支援がなされることにより、その地域に住み着いた猫が適切に管理されるなど、一定の事業成果が挙げられている。これらの成果も踏まえ、今後市として野良猫対策を推進していくべきと考えることから、先進自治体の事例を参考に運用方法を検討されたうえで、担当課の要求どおり県の補助制度も有効に活用し、事業を進めていただきたい。また、事業周知のための広報活動をしっかりと行っていただきたい。</p> <p>ただし、地域に住み着いた野良猫対策としては、地域猫活動に対する支援だけではなく、野良猫に自宅を傷つけられたり、フンの被害を受けていたりする市民への対応などについても十分に検討していただきたい。</p>	<p>県の事業である、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術推進事業の補助制度を活用し事業化する。</p> <p>事業実施に当たっては、地域猫活動推進事業として、これまで活動された方の協力を得るとともに、トラブルを未然に防止するため、申請者に対し飼い主のいない猫と判断した理由の記載、申請者以外の第三者の証明を頂くことに加え、トラブルが発覚した場合、全ての責任を自ら負い、誠意をもって問題解決するなどの誓約を頂くなど、先進自治体の事例を参考に実施する。また、事業周知のためホームページの広報活動において、情報発信をしっかりと行う。</p>	400	400	予算上の見直し箇所なし。	0	担当課の要求を認めない
合 計					35,313	15,759		15,193	